

平成30年6月15日

各位

ダイダン株式会社

「エネフィス九州」が 国際的な環境配慮ビルの認証システム『LEED』で
最高位の **Platinum** (プラチナ) を獲得

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：藤澤一郎、証券コード：1980）は、平成28年5月に完成させた「ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ」（通称：エネフィス九州®）が、国際的な環境配慮ビルの認証システムである LEED（リード）で、最高位となる**Platinum**（プラチナ）認定を獲得したことをお知らせします。



「ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ（エネフィス九州）」

ダイダンは、“建築設備からのZEB技術の発信”を目指して取り組みを続けています。

エネフィス九州は、実際の執務を行いながらもZEB技術を実証・実験する建物として、建設・運用を行い、これまで「BELS 5☆」「CASBEE（新築）Sランク」などの認証や、「第7回サステナブル建築賞【中・小規模建築部門】理事長賞」などの賞を頂いています。

今回のLEED^(※1)は、国際的な環境配慮ビルの認証システムとして知られ、エネルギー効率・水利用・室内環境など総合的に建物を評価します。エネフィス九州は、EBO+M（Existing Building Operation & Maintenance=既存建物の運用と維持管理）部門で、最高

ランクPlatinum（プラチナ）を獲得しました。同部門でのPlatinum認証は国内で5例目、また評価がより厳格化されたVer. 4基準では、国内初の認定となりました。



<LEED ver.4 EBO+M部門 Platinum 認定証>

(※1) LEED: Leadership in Energy and Environmental Design は、グリーンビルディング（総合的な環境性能の高い建築物）の普及を目指す非営利団体USGBC（米国グリーンビルディング協議会）が主催する建物環境性能認証制度。建物の持つ環境性能を第三者として格付け認証するもので、約140の国と地域で取り組まれており、最も国際的に普及している建物認証制度。

Ver. 4（2013年発表・2016年10月から完全適用）は、Ver. 3 をベースとして様々な建物に応用できるよう柔軟性を持たせると同時に、検討段階での十分なシミュレーションや、運用後の実データに基づく評価、および健康への配慮、地域との共生などが重視されている。LEEDの目指す方向性が、グリーンビルディングの国際的な方向性を示すものととらえられている。

6月15日に 一般社団法人 グリーンビルディングジャパン 様より上記の認証授与式が行われました。

ダイダンはエネフィス九州の設計・運用において、ZEBを達成した建物の設計者・施工者である「ZEBプランナー」として、また実際にZEBを達成した建物のオーナーかつ運用管理を行う居住者でもある「ZEBリーディングオーナー」としての立場から、知見を蓄えています。これらを活かし、すでに国内でZEB建築を計画されるお客様や現在運用中のお客様を支援しておりますが、この度 LEED の認証プロセスを経験し、一定の知見が得られたことにより、国内および海外で LEED 認証を目指すお客様へも支援して参ります。

なお LEED や CASBEE などの建物性能のラベリングシステムは、不動産市場やREIT市場において建物価値評価に影響する重要な指標ととらえております。ESG投資（Environment, Social, Governance）への流れが強まっている現況からも、これらラベリングシステムへの知見によりお客様を支援することが今後は重要になると考えております。

ダイダンはZEB技術の知見の蓄積と、お客様の建物でのZEB化実現や建物価値向上への支援を通じて、ZEBの普及と社会の低炭素化に貢献して参ります。

<参考資料>「エネフィス九州 建物認証・認定リスト」

【お問合せ先】ダイダン株式会社業務本部広報部 伊藤
〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10
Tel.: 03-3261-8231 E-mail: itoshuichi@daidan.co.jp

<参考> エネフィス九州 建物認証・認定リスト

省エネ性能特化型	総合評価型	
BELS Building Energy-efficiency Labeling System	CASBEE Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency	LEED Leadership in Energy and Environmental Design
建築物省エネルギーラベリング制度 一次エネルギー消費量に特化した指標	建築環境総合性能評価システム 建築物の環境性能で評価し格付けする手法	環境に配慮した建物に与えられる認証システム (格付けシステム)
国土交通省	(財) 建築環境・省エネルギー機構 (IBEC)	米国グリーンビルディング協会
評価指標 ・一次エネルギー消費量及びBEI 空調 (外皮性能を考慮) 換気 給湯 照明 昇降機 効率化 (創エネ、非空調室) BEI = 設計一次エネルギー消費量 ／基準一次エネルギー消費量	評価項目 Q : 環境性能 Q 1. 室内環境 Q 2. サービス性能 Q 3. 室外環境 (敷地内) L : 環境負荷 L 1. エネルギー L 2. 資源・マテリアル L 3. 敷地外環境 BEE : 環境性能効率 Q / L	評価項目 1. 建築物 (敷地) の持続可能性・交通の便等 2. 水効率・節水性 3. 省エネと再生可能エネルギーの使用 4. 資材の再利用・リサイクル率 5. 屋内環境の快適さ 6. 革新性と設計プロセス等の特別なクレジット 7. 地域別優先クレジット
☆☆☆☆ BEI ≤ 0.5	「Sランク (素晴らしい)」	プラチナ (80-110点)
☆☆☆☆ 0.5 < BEI ≤ 0.7	「Aランク (大変良い)」	ゴールド (60-79点)
☆☆☆ 0.7 < BEI ≤ 0.9	「B+ランク (良い)」	シルバー (50-59点)
☆☆ 0.9 < BEI ≤ 1.0	「B-ランク (やや劣る)」	認定 (40-49点)
☆☆☆☆	「Cランク (劣る)」	
2016.4 取得	2017.2 取得	2018.5 取得
設計段階での評価による	設計・施工段階での評価による	運用段階の評価による (EBO+M部門)